

富加見 泰彦先生(元和歌山県立紀伊風土記の丘主幹学芸課長)と行く 和歌山県中部史跡めぐり 2日間 御坊市・田辺市・白浜町の史跡をめぐる

■旅行期間 2025年 12月16日(火)～12月17日(水) 2日間

■旅行代金【大阪駅前発着】 52,500円 (ツイン利用・シングル利用 同一金額)

●**シングル利用の追加料金が不要です!**

●ツアー中利用の専用バスでお一人様2席使用をご希望の場合は、追加料金4,000円で確約手配を承ります。

座席お任せの場合追加料金は不要です。基本的に1名様1席で並び席でのお手配になります。

ご夫婦・お友達同士など隣席ご指定希望がある場合はリクエストで承ります(確約ではありません)

●ご旅行代金に1,000円の追加で、国内旅行総合保険(任意)にご加入いただけます。

富加見(ふかみ) 泰彦 先生 プロフィール

1952年 和歌山県伊都郡生まれ。現在有田市文化財審議会委員、元和歌山県立紀伊風土記の丘主幹(学芸課長)文学博士。日本考古学が専門で主に古墳時代の海の生業(製塩、漁撈)、窯業(須恵器の生産・流通)、古代寺院・古代の官道をテーマにしてきました。研究の通過点として2024年3月に拙書『原史・古代における海人の研究―紀伊の海人と古代氏族紀氏を中心として―』芙蓉書房を刊行。



■利用ホテル 田辺市: **コンフォートホテル紀伊田辺**
2025年5月29日開業の新しいホテルです

■同行講師 富加見 泰彦 先生(元和歌山県立紀伊風土記の丘主幹)

■添乗員 辻田順一(国際交流サービス会長)が大阪駅前より同行します。

■最少催行人員 15名

■申込締切 11月14日(金)

※但し、定員に達し次第締め切らせていただきます。

■お申込方法 弊社までお問合せください。

お申込み・お問い合わせは

観光庁長官登録旅行業第1793号

株式会社 国際交流サービス 本社営業所

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町1-7-16

ハイタウン北久宝寺ビル102

TEL: (06) 6263-7855

FAX: (06) 6263-7856

受付時間 10:00～17:00

月～金(祝祭日を除く)

総合旅行業務取扱管理者: 辻田 順一

メール: kks@kcd.biglobe.ne.jp

HP: <http://www.kks-kokusai.com/>

総合旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し担当者からの説明にご不明な点があればご遠慮なく取扱管理者にお尋ねください。



岩内一号墳(撮影:辻田順一)



【日程表】和歌山県中部史跡めぐり 御坊市・田辺市・白浜町の史跡をめぐる

	月 日 (曜日)	都市名	交通機関	現地時間	スケジュールおよび見学地	食事
1	2025年 12月16日 (火)	大阪駅 御坊市	専用バス	08:30	【JR】大阪駅前(専門学校HAL前) 集合出発 ☐ 岩内1号墳 和歌山県内でも数少ない終末期古墳の一つ。 横穴式石室を持つ。 有間皇子(640年～658年)の墓の説がある。 ☐ 御坊市歴史民俗資料館 岩内1号墳出土遺物 ☐ 尾の崎遺跡(方形周溝墓) ☐ 野島万葉歌碑 ☐ 磯間岩陰遺跡【国指定史跡】 ☐ 闘鶏神社 ☐ 田辺市立歴史民俗資料館	朝× 昼○ 夕○
		田辺市			 岩内1号墳 (撮影:辻田順一)	
					 磯間岩陰遺跡 (撮影:辻田順一)	
					 闘鶏神社 (撮影:辻田順一)	
					【コンフォートホテル紀伊田辺 泊】	
					 火雨塚古墳 (撮影:辻田順一)	
2	12月17日 (水)	田辺市 白浜町	専用バス		☐ 熊野三所神社 ☐ 火雨塚古墳 (ひさめづか) ☐ 「有間皇子」の碑 ☐ 切目崎(きりめざき)の塚穴(崎山14号墳) 日本遺産「百世の安堵」構成文化財 ☐ 濱口梧陵記念館・稲むらの火の館 ☐ 広村堤防 ☐ 感恩碑 昼食は記念館近接の「道あかり」にて各自(お土産売店有り) ☐ 藤並神社 (泣沢女の神(水の神様)を祀る) ☐ 泣沢女(なきさわめ)の古墳(墓室内に入り見学) ☐ 万葉館 (万葉集の世界を体感できる文化施設) 有間皇子関連展示もあり ご希望の方は和歌山市駅(JR・南海電鉄)で離団可能 【JR】大阪駅前(専門学校HAL前) 解散	朝○ 昼× 夕×
		日高郡印南町				
		有田郡広川町				
		有田郡有田川町				
		和歌山市				
		和歌山駅 大阪駅		18:30頃		

※上記の日程は、現地事情(天候・交通機関・訪問先などの諸事情)で変更される場合があります。



泣沢女の古墳
(撮影:辻田順一)

